

解説記事

- 1) 岩崎健二 (2005) 疲労評価方法の充実による過重労働対策の推進. 労働の科学 60, 610-613.
- 2) Chikako Kaneko, Takahide Hagiwara, Setsuo Maeda (2005) Scaling and evaluation of whole-body vibration by the category judgement method. YAMAHA MOTER TECHNICAL REVIEW 39, 71-79.
- 3) 倉林るみい (2005) 震災後の心の反応“PTSD も含めて”労働の科学 80(10), 12-15.
- 4) 倉林るみい (2005) 職場でのストレス. LABIO21 22, 30-32.
- 5) 倉林るみい (2005) 職場でのストレスとその対応. 倉庫 126, 93-102.
- 6) 前田節雄 (2005) 居住性に関する ISO 規格の動向. 振動技術第 11 号 3 月, p14-17.
- 7) 兼子千夏子, 萩原孝英, 前田節雄 (2005) カテゴリー判断法による全身振動の評価と尺度構成. ヤマハ発動機 技報 No.39, 71-79.
- 8) 明星敏彦 (2005) 労働の科学 Q&A 防じんマスクの選び方は?. 労働の科学 60, 564.
- 9) 明星敏彦 (2005) 大粒子用長尺 DMA の開発と分級特性. 空気清浄とコンタミネーションコントロール 43, 19-23.
- 10) 中西良文 (2005) OECD GLP と Mutual Acceptance of Data の現状. 日本 QA 研究会会誌 29, 61-63.
- 11) 野田文隆, 倉林るみい (2005) 「こころの電話相談」から見えるもの-医療の現場でいかにセカンドオピニオンを得るか. ぜんかれん (全国精神障害者家族会連合会・精神障害者社会復帰促進センター) 458, 20-21.
- 12) 澤田晋一 (2005) ISO/CD7933 : 暑熱環境—暑熱負担予測指標の計算による暑熱ストレスの解析. 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2005, 日本人間工学会 ISO/TC159 (人間工学) 国内対策委員会編.
- 13) 澤田晋一 (2005) ISO/CD8996 : 人間工学—代謝熱産生量の算定法. 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2005, 日本人間工学会 ISO/TC159 (人間工学) 国内対策委員会編.
- 14) 澤田晋一 (2005) ISO/CD15265 : 温熱環境の人間工学—作業温熱条件におけるストレス・不快感のリスクアセスメント. 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2005, 日本人間工学会 ISO/TC159 (人間工学) 国内対策委員会編.
- 15) 澤田晋一 (2005) ISO/CD 15743 : 温熱環境の人間工学—寒冷環境下の作業:手順とリスクアセスメントとマネジメント戦略. 人間工学 ISO/JIS 規格便覧 2005, 日本人間工学会 ISO/TC159 (人間工学) 国内対策委員会編.
- 16) 高橋正也 (2005) 技術情報 : 労働生活の質を高める健康な睡眠. 安全衛生コンサルタント 25, 56-60.
- 17) 上野 哲, 北村文彦, 小林廉毅 (2005) 筋骨格系障害のメカニズムに関する最近の知見. 産業医学ジャーナル 28(5), 83-87.